

地元出身、 現場主義を貫きます!

佐藤としのぶ区議の議会での質問、
実施してきた施策

3期12年の実績です。

- 安全な街づくり -



安心できる街には、防犯、交通安全などの取り組みは欠かせません。特に治安の面では防犯施策の充実で区内の犯罪件数は約半分に減少しました(H15年12,070件→H24年6,269件)。道路の状況は現場主義で現地を調査し、特に事故やケガの元になる危険なところは早期に改善するよう求めてきました。

- ・治安改善のため、安全安心パトロール、セーフティーネットワーク、スクールガードなど各種パトロール事業を導入。
- ・スクールゾーンの交通規制時間を、子どもたちが通る時間に合わせ変更。通学路の危険箇所の総点検、整備を実施。
- ・事故の多い道路・交差点の改善。
例えば中山道の坂下3丁目付近に中央分離帯を設置、交差点路面のキラキラ塗装で危険喚起、通学路に歩行者用信号の設置を促進するなど。
- ・環八道路の貫通など、道路状況の変化に応じ交差点に右折信号を設置し渋滞の解消と安全策を実施。



中山道の中央分離帯 環八通りと蓮根駅前通りの右折信号

② 街の整備促進

耐震偽装問題の時に要望し、耐震診断と耐震補強に対する助成制度を創設しました。東日本大震災後は診断・補強工事の実績が増えています。また公共施設の改修計画作成や、街の景観保全など、提案が実現しました。

他にも公園の利用者要望の実現や、スポーツ施設における熱射病対策や利便性の向上など、街の施設整備に取り組みました。

- ・防災無線のデジタル化などを実施。
- ・高齢者世帯に家具転倒防止器具の補助。
- ・景観条例を制定。
- ・公共施設の適正配置を含め全体計画を作るよう提案し、公共施設等の整備に関するマスタープランを策定。
- ・高島七小跡地に20億円かけて高島平健康福祉センターを移設する計画だったが、地域の再開発の拠点となるべく計画を凍結し再検討。
(高島平全体のグランドデザインの協議に入る。)
- ・電線類の地中化を促進。
- ・三田線の区内全駅にエレベーターの設置完了。
- ・テニスコートの人工芝化(オムニコート)と屋根付きベンチの設置。
- ・屋外スポーツ施設に水飲み場と飲料自動販売機の増設、駐車場の整備、野球場のベンチの改修など。
- ・公園の改修は多数実施。トイレのバリアフリー改修やおむつ替えベッド設置、遊具の改修、イスの設置、段差解消など。
- ・木造家屋の耐震診断と耐震補強の助成制度を創設。非木造(鉄筋、鉄骨等)建築物に対する耐震補強の助成制度を創設。
- ・H27年度から、集合住宅で、災害用トイレ、発電機、AEDなど防災資器材を購入する際の補助金制度を創設。



誰でも使いやすい公園に。トイレの介助シートや遊具・イスの改善。